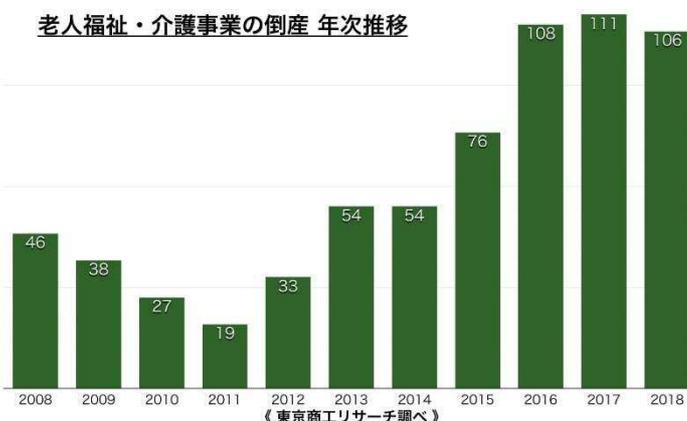


介護事業者の倒産、昨年は106件 人手不足や競争の激化で高止まり

老人福祉・介護事業の倒産 年次推移



100件を超えるのは3年連続。7年ぶりに前年（111件）を下回ったが、依然として高い水準にとどまっている。

深刻な人手不足や競争の激化が背景にある。今年度の介護報酬のプラス改定（全体で0.54%）は相応のインパクトがあったが、倒産の動向にどこまで影響を与えたかは判然としない。東京商工リサーチはレポートの中で、「倒産件数は高止まりの状況。淘汰の動きが加速している」と分析。人件費の上昇に歯止めがかからず、経営環境がさらに厳しくなっていく可能性も指摘した。

昨年度の倒産を業種ごとにみると、「訪問介護」と「通所介護・短期入所介護」の2つで8割超を占めている。「訪問介護」が45件、「通所介護・短期入所介護」が41件だった。いずれも大半は規模の小さな事業者となっている。

つぶれる前に撤退するところも多いとみられる。例えば訪問介護。厚生労働省の「介護給付費等実態統計」によると、直近の昨年6月の請求事業所数は3万3143件。1年前の2017年6月と比べて175件少ない。地域密着型を含む通所介護も同じ期間に96件減少。事業所数が右肩上がりに増えていく時代もあったが、もはや過去の話となっている。

有料老人ホームの倒産、2.3倍増

昨年の106件の倒産のうち有料老人ホームは14件だった。前年の2.3倍と増加が目立っている。東京商工リサーチは、「競争激化で入所者の確保に苦慮する事業者の破綻が目立った」と説明。「経営基盤の脆弱な事業者を中心に『ふるいわけ』が進んでいる」としている。

～介護ビジネス研究会のご案内～

- 日時：2019年3月14日（木）
14:00～16:00(受付13:30～)
- 会場：じゅうろくプラザ5階 小会議室①
岐阜市橋本町1-10-11
- 内容：「介護スタッフ採用革命2019」
～コスト0円で！？3倍採用する裏技教えます～
講師 船井総合研究所
- 詳細は開催3週間前程にDMでお知らせします。
- 医療・介護・障がい福祉の経営者(幹部)のための隔月勉強会です。座学セミナーによる業界最新事例の+事例交換会を基本とする経営塾です。

岐阜県福祉のまちづくり推進協議会

担当：苅谷

〒501-3246 関市緑ヶ丘2-5-78

TEL:0120-337-301

FAX:0575-24-5733

<http://www.koreisyajutaku.jp>

[mail:kriya@nodakensetsu.co.jp](mailto:kriya@nodakensetsu.co.jp)

お問合せは
コチラまで

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて0575-24-5733迄ご返信をお願い致します。

案内
不要